

## 大沢山温泉秘湯訪問レポート

2007年8月11日、湯原記  
(河井・写真)

8月6日(月)、7日(火)に大沢山温泉  
に行ってきた。

6日午前9時柏駅集合で、中野、木村、  
河合、青木、奥村、芝原に幹事役の山口、  
高橋、湯原の計9名の参加でした。上野から高崎、水上と乗り継ぎ、予定通り、大沢  
に着き、宿の送迎バスで無事、秘湯「高七  
城」に到着しました。

全員集合時間に遅れることなく、早めに  
日程を進め、高崎では1時間ほどの余裕が  
あり、それぞれ名物駅弁の「だるま弁当」  
や「とりめし」を購入、高崎出発後車内で  
食べました。待ち合わせ時間を利用して城  
址公園まで散策した人もありました。暑いさ  
なかご苦労さんです。

車中、中野さんが信濃川源流は埼玉県とい  
う説を出し、喧々諤々の一こまがあり、既  
に木村さんからメールが寄せられ、源流は  
長野県のようにでした。

さて、強烈な暑さの中の旅行でしたが、  
水上で乗り換え越後湯沢を過ぎるころから  
雲行きが怪しくなり途中土砂降りの雨が降  
ってまいりましたが、大沢に着くころは雨  
も降っていませんでした。

宿の車で見晴らしの良いスカイラインを  
案内していただきましたが、途中から雷が  
鳴り出し、高七城着いたとたん土砂降りの  
雨が降ってきました。タッチの差でした。  
一説には雨男のKさんが連れてきたとのも  
っぱらの話でした。

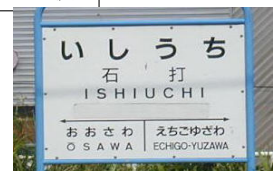
未だここでは神秘的な面持ち  
でしたが、..。上野駅で



俺のトリメシ弁 喰いたい？  
後ろの達磨弁よか旨いんだあ  
ホント。



途中通過駅



柏を9時に出て5時間余り、  
やっと目的地の大沢駅到着



この無人駅で降りたのは、この  
9人の疲れた顔の侍のみ！

つるつるすべすべの温泉に入り、待望の食事とお酒を飲み楽しいひと時を過ごしました。米は本場魚沼のこしひかりで美味しく朝は皆お代わりしていました。



高七城の内湯、露天風呂に入った後、みんなで宴会でした。



翌日はゆっくりと宿を出発、宿のご好意で越後湯沢まで送っていただきました。途中「桂の大木」のあるお寺に案内していただきました。ここは一時ビルマの元首が亡命していたそうです。

越後湯沢では川端康成の小説「雪国」のゆかりを皆で歩きました。大堀川の会員としては珍しいことでした。布場スキー場、諏訪社、駒子の湯、下宿（しもしゆく・三国街道の宿場）、雪国の碑などを汗をかきながら廻りました。

山口さんの案内で昼食は「へぎそば」を美味しいお酒やビールで味わいました。お酒は八海山と塩沢の地酒でした。塩沢の地酒「鶴齢（かくれい）」は「青木酒造」、おそばやさんは「中野屋」でした。

食後、それぞれお土産を買い、新幹線で高崎まで行き、鈍行に乗り換え上の経路で無事柏に帰ってきました。

幹事の山口さん高橋さんご苦労様でした。小生は何もせん幹事でした。

『雪国』と言えば、まずは駒子。島村という男が駒子という芸者と切なく情けを交わす物語である。女性と聞けばメのないN氏の要望でその駒この後を辿ることになった。



「国境の長いトンネルを抜けると、雪国であった。」越後湯沢駅近くの川端康成の石碑前で。



新潟の隠し湯 大沢山温泉の旅



湯沢町歴史民俗資料館雪国館隣り、無料の足湯

なぜかお地藏さんと目があいません。



毎年大沢の街を描く絵画会があって、これはその1点。このテの企画、大堀川・大津川・手賀沼などを対象にしてみても面白い。

以上



補足情報： 信濃川源流の件 (8/7 木村記)

旅中で話題になった信濃川のホームページを見て、認識を新たにしました。皆さんの手間を省くかと連絡します。信濃川は全長367km、日本で一番長い川とはご承知のことですが、信濃川の呼称は153kmで上流は千曲川です。源流はお説の通り「甲武信ヶ岳」ですが、長野県側斜面（長野県南佐久郡川上村）から発しているようです。源流は長野県が正解と思われます。